

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	③ 交通安全対策の推進
			施策の小項目名	○交通安全環境の整備
主な取組	交通安全施設等整備事業			
対応する主な課題	⑤交通安全対策として、交通安全施設の整備に加えて老朽化した信号機や道路標識、消えかかっている道路標示等の更新について充実強化する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
安全で円滑な道路交通を確保するために、交通信号機の新設・改良・更新、交通管制システムの充実・高度化、管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化、高度道路交通システム（ITS）の整備のほか、道路標識、道路標示の新設・更新に取り組み、交通安全環境の整備を推進する。						789基 (累計)
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	警察本部交通部交通規制課 【098-862-0110】					
		交通信号機、道路標識等の更新等及び交通管制システムの高度化				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 交通安全施設管理費							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	直接実施	325,664	295,115	283,095	328,668	301,398	289,234	県単等	OR元年度：交通安全施設の応急修繕費用及び適正な運用のため、保守管理委託及び施設の稼働運用費用（電気料等）を執行した。 OR2年度：交通安全施設の応急修繕費用及び適正な運用のため、保守管理委託及び施設の稼働運用費用（電気料等）を執行する。
予算事業名 交通安全施設整備事業費（補助事業）							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
各省計上	直接実施	904,688	1,122,905	657,865	654,115	684,534	795,052	各省計上	OR元年度：道路における交通の安全と円滑を確保するため、交通信号機の改良・更新・集中化等204か所の整備を行った。 OR2年度：道路における交通の安全と円滑を確保するため、引き続き、交通信号機の改良・更新整備等を行う。

様式1(主な取組)

予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
交通安全施設整備事業(単独事業)										
県単等	直接実施	145,048	231,953	269,433	246,168	278,688	245,990	県単等	OR元年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、交通信号機の新設1基、改良・更新・集中化等99か所の整備を行った。 OR2年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、引き続き、交通信号機の新設、改良・更新整備を行う。	
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
信号機電源付加装置整備事業										
県単等	直接実施	34,055	36,000	36,000	29,816	263,819	50,000	各省計上	OR元年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、信号機電源付加装置の更新34基及び新設60基の整備を行い、交通安全施設の整備を行った。 OR2年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、引き続き、信号機電源付加装置(リチウムイオン電池式)25基を整備する。	
活動指標名	交差点信号機の集中制御化				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	751基	751基	757基	769基	779基	779基	100.0%	1,528,439	順調	交差点信号機の集中制御化を実施し、令和元年度は、累計で779基の整備を実施したほか、交通安全施設の改良・老朽化更新を計画的、効率的に行った。
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—	—	—	—	—	—				交差点信号機の集中制御化については、令和3年度目標値789基に対し、令和元年度時点で779基を整備しており、達成率は98.7%となり、「順調」に推移している。また、新設道路の供用に合わせた集中制御化を行うなど、交通の安全と円滑化を図った。
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				

## 様式1(主な取組)

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和元年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・業務委託予算を充実させ、効率的、計画的な施設整備を推進するとともに、交通安全施設の老朽化対策に特化した予算要求を行い、更に交通安全施設整備の充実強化を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・効率的、計画的な施設整備を推進し、特に老朽化の著しい信号制御機や信号柱などの更新を推進した。</li></ul>



### 3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交通安全施設整備にかかる知識習得に時間を要し、予算執行体制が十分に確保できないことから安定的な執行体制を確立することが必要である。</li></ul>	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交通安全施設整備事業費の老朽化更新に占める予算が増加してきており、安定的な予算の確保が必要である。</li></ul>
(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化の実態を的確に把握した上で計画的な整備を推進していくほか、業務委託予算を更に充実させて業務の合理化に努め、効率的な施設整備を行っていく。</li></ul>	

## 様式1(主な取組)



### 4 取組の改善案 (Action)

・業務委託予算を充実させ、効率的、計画的な施設整備を推進するとともに、交通安全施設の老朽化対策に特化した予算要求を行い、更に交通安全施設整備の充実強化を図る。